

叡啓大学 2023 年度入学者選抜（春入学）
（総合型選抜・留学生選抜、学校推薦型選抜）

グループディスカッション

1 テーマ

SDGs の目標 6.2 には「2030 年までに、全ての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性及び女子、並びに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を向ける。」が掲げられており、未来のトイレは、すべての人が安心して衛生的に利用できることが理想です。現在の日本でも、この目標の実現に向けて、学校や公共施設などのトイレの改善が進められています。

2040 年の日本について考える際、少子化や過疎化による学校統廃合、上下水道設備の老朽化などへの対応に加えて、災害対応力を高めることも必要です。例えば、災害発生時には、学校のトイレを多くの人が利用することになりますが、日本国内の人口動態や在留外国人の数も大きく変化するため、未来の学校のトイレに求められるニーズは、現在と異なることが推測されます。

2040 年の日本国内の学校のトイレがどのようになっているべきか、またその理想を実現するために今から取り組むべきことについて、議論してください。

2 事前課題

必読資料を読み、各自で事前課題発表用資料を作成してください。

(1) 必読資料

厚生労働省「『令和 2 年版 厚生労働白書』第 1 章『平成の 30 年間と、2040 年にかけての社会の変容』第 1, 2, 5, 7 節 (p.1~17、p.65~70、p.84~101)

<https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/19/dl/1-01.pdf>

学校のトイレ研究会「学校トイレ ノウハウブック」、2022 年 7 月改訂

<https://school-toilet.jp/book/volknowhow.html>

(2) 事前課題

「2040年の日本国内の学校のトイレがどのようになっているべきか、またその理想を実現するために今から取り組むべきこと」について、あなたが最も重要と考えることを1つ取り上げ、その理由について、1人3分以内(時間厳守)で発表する資料を作成してください。

【事前課題発表用資料の作成・発表方法】

- ・ 事前課題発表用資料は手書き、パソコンなど作成方法は問いません。また、用紙の種類やサイズ、枚数などは指定しません。
- ・ 資料や図表等を引用する場合は、必ず出典を記載してください。
- ・ 発表方法は、次のいずれかから自身の取り組みやすい方法を選んでください。
なお、作成方法や発表方法については評価に影響しません。
 - 紙面をパソコン等のカメラに向けて提示し発表する。
 - Zoomの画面共有機能を用いて発表する。

3 グループディスカッションの進め方

- ・ 試験は日本語で実施し、試験時間は90分です。次のページの【進め方の例】を参考に、試験当日指定された時間までに議論を終結させてください。
- ・ グループの人数は6人程度(予定)です。最初に、グループ内でどのような役割を設けるか、その役割の人が何をするかを話し合い、誰がどの役割を担当するかを決めてください。(役割の例:司会、書記、タイムキーパーなど)
- ・ 試験官は議論の進行に関与しません。議論の進め方や時間配分などについても、グループで決めてください。
- ・ 試験の最中、資料等を参照してもかまいません。
- ・ 試験終了10分前になったら、到達した結論または議論の過程について、試験官にプレゼンテーションを行ってください。全員が同じ結論に到達する必要はなく、複数の結論を含んだまとめでもかまいません。

【進め方の例】 ※時間は目安

① 役割分担等 (3分程度)

役割分担、議論の進め方や時間配分などについて、グループで話し合う。

② 個人発表 (15分～18分程度)

事前課題をグループのメンバーに発表する。

※ 発表時間は1人3分以内(時間厳守)。

③ ディスカッション (60分程度)

それぞれが発表した内容を踏まえ、「2040年の日本国内の学校のトイレがどのようになっているべきか、またその理想を実現するために今から取り組むべきこと」について、グループの取組案を検討する。

(進め方のヒント)

- ・ 共通の課題や異なる意見などを確認する。発表された課題が類似している場合には、ディスカッションを通じて新しい課題を追加・提案してもかまわない。
- ・ 現状や背景、原因、社会に与える影響・インパクト等について検討する。
- ・ 具体的なアイデアについて、必要性や有効性、実現可能性等を検討する。

④ グループ発表 (10分程度)

到達した結論または議論の過程について発表する。

※ 発表は複数人で行ってもかまわない。また、発表用の資料をディスカッション中に作成する必要はない。

4 グループディスカッションの注意事項

- ・ グループディスカッションで知り得た同じグループの受験者に関する情報を、他者へ伝えることは禁止します。
- ・ グループディスカッションの実施中に、受験者自身のプライバシーに関する内容を話題に挙げる場合は、受験者自身の責任において行ってください。

5 参考資料

Water, Sanitation and Hygiene Promotion (WASH) chapter of “The Sphere Handbook: Humanitarian Charter and Minimum Standards in Humanitarian Response” (2018 edition) Sphere Project, p.90-120, and Appendix 3-4 (p.145-146)

<https://spherestandards.org/wp-content/uploads/Sphere-Handbook-2018-EN.pdf>

災害対策トイレ情報ガイド(2019) 特定非営利活動法人日本トイレ研究所

http://toilet-nippon.heteml.net/toilet.or.jp/toilet-guide/pdf/info_gide2019.pdf

内閣府(防災担当)「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」、平成28年4月

https://www.bousai.go.jp/taisaku/hinanjo/pdf/1605hinanjo_toilet_guideline.pdf

6 評価基準

本学は、次の基準でグループディスカッションを評価します。

評価観点	評価基準	アドミッション・ポリシー
姿勢・視野	<ul style="list-style-type: none"> 「グループディスカッションの進め方」をふまえて取り組んでいるか。 事前課題に積極的に取り組んでいるか。 グループ内で出された異なる視点や情報を取り入れて、より良い案を生み出す姿勢が見られるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来を見据え、目的意識を持って学修に取り組もうとする姿勢 自ら先頭に立ち、他者を巻き込んで様々な課題に取り組もうとする姿勢
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> グループで決めた役割を適切に担っているか。役割に応じた貢献をしているか。 異なる考えや価値観に理解を示し、他者と積極的にコミュニケーションを行っているか。 他者の話をよく聴いて、議論を円滑に進めようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 他者と積極的にコミュニケーションを行う姿勢